



議会だより

Shari Town
Assembly



9月定例会議



コロナ第7波、感染者数の推移を気にしながら9月14日から10月7日までの9月定例会議が開催されました。

決算審査特別委員会の審査も実施され、すべての議案が全会一致で可決されました。

補正予算等審議の内容

9月14日～10月7日

■ 一般会計補正予算

コロナ感染関係事業

- 【総務】
 - ・ヒグマ管理対策業務委託料100万円
 - ・国立公園内森林保全事業特別会計繰出金追加 400万円
 - ・ホロベツ園地再整備基本計画策定事業 300万円
 - ・遊覧船事故対応事業 搜索費用支援負担金 100万円
 - ・ボランテアによる行方不明者の捜索活動への支援 250万円
 - ・海難事故基金積立金追加 250万円
- 【民生】
 - ・障害者自立支援給付費審査支払等システム改修業務委託料 39万円
 - ・心身障害者(児)日常生活用具給付扶助費追加 18万円
 - 【衛生】
 - ・網走厚生病院脳神経外科運営支援負担金 915万円
 - ・廃棄物堆肥化処理修繕料追加 484万円
 - 【教育】
 - ・体育施設修繕料追加 317万円
 - ・スケートリンクLED化
 - ・ウトロ地域水泳プールボイラー改修 462万円
- 【コロナ感染関係事業】
 - ・国立公園内自動車利用適正化事業 320万円
 - ・公園内シャトルバス利用者減の支援
 - ・保育ICT導入事業 567万円
 - ・保育士の負担軽減と業務効率化
 - ・庁内デジタル化推進事業(追加) 849万円
 - ・web会議オンラインブース設置
 - ・事業継続緊急支援事業 3500万円
 - ・北海道実施の事業に乗せて町内事業者支援
 - ・デジタルクーポン発行事業 4500万円
 - ・商工会によるクーポン発行による町内経済の活性化支援
 - ・文化施設トイレ改修事業1096万円
 - ・ゆめホール知床のトイレの洋式化
 - ・消防組合感染症対策事業 330万円
 - ・緊急搬送時の自動心肺蘇生機導入
 - ・スクールバス密集軽減運行業務委託事業 311万円

一般会計補正予算 第5・6・7回

総額93億1709万円

補正予算での質疑内容

●遊覧船事故対応 捜索費用支援負担金

海道議員 支援金の内訳を伺います。また、漁業者の捜索協力への対応は？

総務部 ボランティアの方に38万円、知床財団にヒグマ対策として60万円です。漁業者への対応は保険金対応の可能性もあるとのことなので、含んでいません。

久保議員 ボランティアへの費用負担の経緯は？ヒグマ対策は、どこの捜索に同行されたのですか？

総務部 行方不明者の家族からも、費用負担をしてあげてほしいと申し出がありました。

ヒグマ対策は警察の捜索に同行しています。今後の捜索にも同行する分の経費も考えています。

●事業継続緊急支援事業

櫻井議員 北海道の「道内事業者等事業継続緊急支援金」受給者が対象ですが、北海道の受給要件に該当しない事業者がいるのではないのでしょうか？

事業要件を再度検討するべきではないのでしょうか？

商工観光課 対象にならないガイド事業者など、また、北海道の事業について調べてみます。

木村議員 支援金のしっかりとした調査を行うべきではありませんか？

商工観光課 内部で検討させていただきます。

●参議院選挙票数ミス

久保議員 7月に実施された参議院選挙で候補者の誤集計があり、町民からの指摘で発覚したが町政報告されないのは何故ですか？

また、町民の権利が損なわれる事案と思いますが理事者の責任と再発防止策は検討しましたか？

副町長 選管は別機関と認識しました。今後の再発防止と事務改善に向け協議します。

町長 総体的に人事をする立場で責任を感じています。



●漁獲量

木村議員 資源量確保についての対策は？

水産林務課 町としても孵化事業に協力金など支出しています。

●デジタルクーポン発行事業

若木議員 ポテトカード事業との連動は？

デジタルクーポンの参加事業者数は？

生活応援として十分に活用されますか？

商工観光課 ポテトカードとの連動は考えていません。まだ、参加事業者は確定していません。

スーパーなどでも利用できるようにしていきたいと思っています。

櫻井議員 利用料、手数料は事業者の負担ですか？

スマホを活用できない人にとって不公平感がありますが、クーポン導入を段階的に構築すべきでは？

商工観光課 利用料、手数料は町が負担します。

スマホ対応のできない人に、ポテトカードプリペイド入金を考えています。

町外の方の利用を広げていくためにも、このシステムを今後の観光消費旅先納税などに活用拡大をすすめたいと思います。

●保育ICT導入事業

小暮議員 保育園送迎バスの事故を教訓にして、システム導入後も最後は人の目、人の手で安全管理を進めてほしいと考えますが、いかがですか？

こども支援課 今回のシステムは登園時に保護者がタブレットに直接タッチする方法です。人の手、声かけによる対応を心がけます。

●スクールバス運行

若木議員 高校生の下校時にスクールバスの利用が可能になったのですか？

生涯学習課 生徒の送迎ができないときに、利用できる運行環境であれば可能としています。

特別会計・企業会計
補正予算

- ・国民健康保険事業特別会計
- ・国立公園内森林保全事業特別会計
- ・公共下水道事業特別会計
- ・介護保険事業特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・病院事業会計
- ・水道事業会計

決算審査特別委員会の
設置
9月15日

一般会計、5特別会計、2企業会計は、決算審査特別委員会に付託されました。

監査委員・議長を除く議員全員の委員会構成となります。第1回の委員会で正副委員長が選出されました。

委員長 須田修一郎
副委員長 久野 聖一

決算認定 報告

10月7日

決算審査特別委員会報告

一般会計歳入歳出決算認定から水道事業会計決算認定までの8件は認定とされました。

審査の内容・経過については11ページをご覧ください。

9月定例会議・議案

人事案件(敬称略)

人権擁護委員

兼平 俊幸(再任)
小野寺淳子(新任)

固定資産評価審査委員

馬場 浩一(再任)

斜里町教育委員会委員

佐々木王佳(新任)

意見書

● 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

提出者 櫻井あけみ

● 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

提出者 若木 雅美

* 2件の意見書を関係機関に送付しました。

条例の改正

- 斜里町地域福祉計画審議会設置条例
- 斜里町子ども・子育て会議条例
- 斜里町健康増進計画審議会設置条例

* 3件全て役場組織一部改編に伴う改正です。



全員協議会

町から町政全般に関わる事項や、重要施策についてあらかじめ補足的な説明を受けるために、必要に応じて開催される会議です。9月定例会議では3件でした。

10月1日付(予定)の組織一部改編

- 総務部内に「DX推進室」を設置
 - * 専門人材を外部から積極的に採用しながら、庁内・行政等のデジタル改革を進めます。
- 保健福祉課を分課改編し「地域福祉課」・「健康子育て課」
 - * ぼると21に「子育て世代包括支援センター」設置、「重層的支援体制準備事業」を進め整備を図ります。
- こども支援課を「児童育成課」に、生涯学習課を「学校教育課」と実態に合わせ名称変更します。
 - * 子育て関係のワンストップ窓口化と青少年・社会人教育活動の公民館への移行を進めます。



第6次斜里町総合計画実施計画書(財政収支試算、令和4~8年度)

- 5年間の経常収支差引財源を18億320万円と見込み、一般財源ベース(大型事業・投資的事業・令和4年度以降の借入金償還額)の経費合計は26億2,504万円となり8億2,183万円の収支不足となります。
- 不足分は財政調整基金から各年度繰入し、その合計額は11億82万円と試算しています。尚、令和4年度末残高見込は15億2,002万円です。

斜里町一般廃棄物処理基本計画(案)の策定

廃掃法の定めに基づき、令和4年度までの計画期間終了(15年間)に伴い、現計画の課題の整理や周辺地域との中間処理の広域化等を踏まえ計画策定に取り組みます。「環境型社会」構築を目標として令和19年度までを計画期間とします。

計画の数値目標

- ごみ減量→現年度から毎年1.3%減量し3,400トン以下とします。
- リサイクル率→堆肥化処理を廃止の場合27%以上、堆肥化処理継続の場合34%以上とします。
- 埋立処分量→堆肥化処理をする場合340トン以下、堆肥化処理継続の場合230トン以下とします。



久野 聖一 議員

海難事故の慰霊事業について



録画映像を動画でチェック▶



まだ捜索が続く知床岬周辺

問 4月23日に発生した海難事故から5カ月になろうとしています。おこくになりなられた方は18名、行方不明者がまだ8名おり、遭難されたご家族にとっては落ち着かない日々となっております。

その間、安全対策の検証が行われている反面、事故を起こした事業者の原因究明や詳しい状況については調査中で、まだ国からの情報は入ってきていません。

観光船の別の事業者等は安全点検をして一斉にスタートしていますが、その他の各事業者や町民の中には一区切りがついたと?自信を持って全国から知床のファンに来てくださーいと言える状況に

あるのかどうか?の声も聞こえます。

そこで事故に遭われた方のご遺族、捜索関係者や関連団体はもとより、多くの町民にもご出席をいただき、慰霊事業をやるのが重要ではないかと考えます。

町長の考えをお聞かせ下さい。

町長 慰霊事業の実施にあたっては、ご家族の心情への配慮が何よりも必要です。

さらに事故の当事者が慰霊事業に関与するの可否かといった点についても、慎重に判断する必要があります。

いずれにしましても、慰霊事業を実施するか否か、実施する場合の内容、時期等につきましてはご家族の声にも耳を傾けながら、そ



1800人も訪れた献花台

のご意向も尊重した上で慎重に判断する必要があります。と考えています。

再質問 事故からもうすぐ5カ月。知床遊覧船側からの町に対するお話、情報など入ってきているのでしょうか?

町長 具体的な話は入ってきていません。

再質問 役場玄関にある町民や町外者からの花束の献花台、いつまで続けられるのですか?

また最近献花が少なくなっているのに、寂しくならないように工夫などできないものですか?

町長 いろいろな形の祈りを届ける場として捉えているので、できる限り続けられればと思っております。

それが途絶えたときには場所をウトロがいいのか役場がいいのか考えていく必要があると思っております。

再質問 この海難事故後、町長が一人で悩まず、私たち議員にできることがあれば、ぜひ言っていた

町長 議員の皆様お一人お一人のネットワークを使って、ぜひ斜里町に来ていただきたいと発信してほしいと思います。

男性トイレにもサニタリーボックスを!

問 最近、男性のいろいろな病氣、膀胱癌や前立腺癌などの患者さんが尿漏れのため、パッドを使うのが増えてきていると言われています。

尿漏れパッドを使うとそれを捨てられず、トイレに流したり、傍に置いてくるといったような事例があると聞きます。

そこで斜里町でもこのようなことを解決するため男性トイレにもぜひサニタリーボックスを置いていただきたいと思います。考えをお聞かせ下さい。



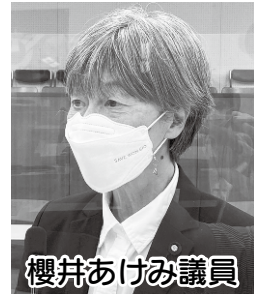
大型のサニタリーボックスを!

整備の一つとして、自治体や民間事業者でも男性用トイレに、サニタリーボックスを設置する動きが広がっている状況であります。

町としてもトイレの快適な利用に配慮し、順次サニタリーボックスの設置を進めて参ります。

再質問 サニタリーボックスが設置されたトイレはここだと、目印のようなものが外部からわかるような配慮はできますか?

町長 施設の規模や利用状況に伴う注意点などを整理し検討します。



櫻井あけみ議員

知床遊覧船事故後・知床観光の回復 そして支援! 町のやるべきことは?



録画映像を動画でチェック▶

問 知床遊覧船事故を決して忘れることなく、地域は、改めて「観光」に向き合いその信頼回復に努めています。

再質問 □コロナ禍のなか事業継続の努力を続け、この事故でさらに大きな影響を受けています。

再質問 知床観光の将来へ向けた継続を図るため、斜里町としてどのような取り組みを考えていますか?

●今夏の状況は?
町長 コロナ感染と知床の事故が主要因と推察されます。重大な懸念と注視しています。

●信頼回復とは?
町長 信頼感は、旅行者が判断することにほかありません。地域全体で信頼回復を目指すしかありません。

再質問 町としてしっかりとアピールすべきでは、という声が地域外からも出ていますが?
町長 今は、耐え忍ぶ時と考えます。

再質問 斜里町としての積極性が信頼では?
町長 それぞれの地道な発信呼びかけも大切と考

えています。

●観光振興計画に リスク明記を!

町長 次期計画に反映してまいります。

再質問 リスクの可視化に取り組むべきでは? 6月会議でも提案させていた

町長 リスクを共有して選択することも必要な取り組みの一つと思います。

●事業者への
支援対策は?
町長 補正予算に計上の事業継続緊急支援金で、臨時的に給付支援、デジタルクーポン発行で町内需要喚起を実施。

さらに流水観光時にアクティビティクーポン発行の要請に対応するなど検討してまいります。



知床斜里町観光協会ホームページ



知床斜里町観光協会ホームページ

●これからの観光 政策を早急に!

問 観光事業者は大きな危機感を持っています。観光政策に、大きく力を注ぐ時と思います。

町長 一人の男が引き起こした行いです。

しかし、雄大な知床の自然を楽しんでもらうスタイルは大きく揺るがないものです。今後も、長期的な方向感を見誤ることなく、観光地づくりを進めて行きます。

子どもの医療費無償化 町長の意思は?

問 これまで3回の一般質問をしてきましたが、明確ではありませんが、実施に前向きな答弁をいただいています。

全道自治体の9割以上が実施。だから、斜里町でも実施すべきと言っているわけではありません。

委員会の調査先では、各自自治体の町長が自身がこの事業実施に対する根拠と意志を説明してくださいました。事業には、町長のまちづくりへの意思が不可欠です。

改めて、子どもの医療費無償化に対する町長のお考えを伺います。

合わせて、地域内消費促進の効果が期待できる事業「子ども医療費無償化還元事業」についてもお考えを伺います。

町長 子育て政策の中での負担軽減であると思っておりますが、財源の確保があつて話です。

還元事業は、町内消費につなげる誘導方法



としては一石二鳥の役目を果たすと思っています。いずれにしても、財源の確保が重要です。

再質問 各自治体の町長も担当職員も、子育てが安心してできる支援とおっしゃっていました。町長の掲げる「あつたか斜里町」というメッセージが単に「負担軽減」だけで子育て世帯に届くのでしょうか?

町長 現事業のスクラップアンドビルドを考え、何でもやってあげるとはなりません。各世代トータルで見ながら、対応検討していくつもりです。



海道 徹 議員

生産年齢人口減少・少子高齢化社会を見据えてどう立ち向かうのか



録画映像を動画でチェック▶

問 いま地方は、まさに本格的な少子高齢化と生産年齢人口減少社会を迎えています。斜里町も、これからいつそう高齢化が進み、生産年齢人口もそれに伴って、減少していきます。生産年齢人口が減少すれば人手不足をはじめ、消費者人口の減少による経済規模の縮小の可能性など自治体として対応すべき様々な問題が出てきます。

高齢化による社会経費などの義務費の増大が見込まれ、増える支出に減る収入など恒常的な赤字財政に陥りかねません。斜里町が直面している生産年齢人口減少社会という最重要課題に町としてどう立ち向かうのか、町長の所見を伺います。

町長 総務省統計局によると、国内も人口減少社会に突入したのは2008年であると考えられています。斜里町においても例外ではなく、昭和30年代には1万8千人を超えていた人口が8月末現在では1万979人となりました。

議員 ご指摘のとおり斜里町でも生産年齢人口減少

少による労働力低下が喫緊の課題であると考えています。

再質問 まち・ひと・しごと創生総合戦略・第6次総合計画の中で、人口減少対策は行っています。それにもかかわらず、大きく人口が減少している要因についてどのような考察し、今後、人口減少・人手不足・少子高齢化など縮小していく社会への対応をどのように考えているのですか。

町長 人口減少対策は行ってきましたが効果がなかなか出ていないのが現状です。

次期第7次総合計画策定にあたり、もっとも考慮すべき課題の一つとして今後議論を深め、次期計画に対応策を盛り込んでいきたいと考えています。現段階での人口減少適応策の一例として、デジタル技術の活用があります。

また、担い手確保が今後ますます課題となる自治体活動において、ソーシャルネットワークサービスの活用などが考えられると認識しています。



人口減対策は喫緊の課題!

今後は、必ずしも定住という形でなくても、地域の担い手として活躍する人材を地域に招き入れることも視野に入れていきます。

再質問 国は人手不足解消の一つとして外国人労働者の拡大を進めていますが、斜里町では外国人労働者の生活環境の構築をどのように考えていますか。

町長 外国人人材についても、担い手として安定的に確保するためには、コミュニティの一員として受け入れ、斜里町を暮らしの場として選択してもらえよう工夫する必要があります。

行政のDX・デジタル化について

問 DX・デジタル化は単なるICT化とは異なります。住民本位の行政・地域・社会を実現するプロセスと言われるように、斜里町がよりいっそう住み続けたいまちになるために、どのような行政サービスであるべきかを描き、デジタル技術を活用し実現していくものと考えます。多額の予算と労力をかけシステムを置き換えても、大きな効果が得られないという失敗が懸念されます。デジタル化推進にあたって、どう斜里町行政の在り方を構想し、改革を推進していくのか伺います。

町長 生産年齢人口の減少により、自治体の労働力不足や税収減が課題になっている一方で、個々のライフスタイルの多様化や人口構造の変化によって、広範囲できめ細かい行政サービスが求められると考えています。デジタル技術やデータを活用することで、町民の利便性や業務効率化をいっそう



進めていきます。

再質問 町民の利便性と業務効率化を目指すためにどのような組織体制を考えていますか。

町長 令和4年4月から庁舎内でプロジェクトチームを立ち上げ、これまでの業務をいかに簡素に効率的にミスが発生しないように、デジタル化における意義から検討を始めています。

再質問 組織体制での人材確保はどのように考えていますか。

町長 職員のほかに地域おこし強力隊、さらには民間企業と地域活性化起業人制度活用に関する協定を締結する準備を進めています。

地域資源の活用や福祉の向上など、現状の課題を解決し、一人ひとりの価値を大切にデジタル社会の実現に向けて取り組んでいきます。

『第7次斜里町総合計画』策定、町民参加を促すために!



録画映像を動画でチェック▶



小暮 千秋 議員

問 8月24日に第1回目の『第7次斜里町総合計画』策定委員会が開かれました。

総合計画策定は『斜里町自治基本条例』の「情報共有・町民参加・協働」の原則に則り町民みんなの未来を考えるきっかけにすることが大切では?

町長 総合計画は町民みんなの計画であり、多くの情報をお示ししながら目標に向かって皆さんと一緒につくり上げていく考えです。

●公募委員は?

問 前回の策定時に比べ町民委員の数が37名から28名に減っているのはなぜですか?

町長 町民委員の構成を各部会4名にしたため、前回より減少させるという意図ではありません。再質問 2名の公募委員が選出されていますが、広く一般公募しても良かったのでは?

副町長 現在は公募委員は全て無作為抽出による公募委員登録制度により選出しています。

町民の皆さんには会議を傍聴していただけるような機会を設けたいと考えています。

再質問 ぜひこの機会に子どもたちの意見を聞く場も設けては?

副町長 町長からも同様の進言をされており、何らかの形で対応したいと考えています。

●情報共有は?

問 ホームページの特設サイトはいつ開設しましたか?

総務部長 8月予定の開設が遅れ9月9日でした。

再質問 第1回目の策定委員会の周知もすべきたつたのでは?

総務部長 次回からは事前に日時の周知、結果報告など順次充実させていただきます。



みんなで考えましょう「次の10年」

物価高騰! 今後の生活者・事業者支援は?



録画映像を動画でチェック▶



若木 雅美 議員

問 食料品や生活必需品の値上げが相次いでいます。この状況の中で、これからの冬期間の暖房費の増加は、町民生活に大きな負担です。

公共料金の負担軽減による生活者支援を実施すべきではないでしょうか。

町長 今後、国から新たに示される予定の追加分の交付金や国の追加施策を見極めた上で検討していきます。

再質問 コロナ禍における事業者支援の水道料金減免は支援を受けた方から評価されたと思います。同様の支援を町民向けに実施する考えはありますか。

町長 そのような考えもあるかもしれませんが、町としては選択してきませんでした。

再質問 国は、燃油価格等高騰における生活者支援を町が行うように交付金を配分しているのではないですか。

町長 今後については、高齢者世帯への生活支援など取り組んでいく必要があると考えています。

再質問 大学などに進学

している子どもへの支援も検討してはどうでしょうか。

●一次産業へも支援策を!

問 燃油高騰は一次産業にも大きな負担増となっています。

漁業者、農林業者に対する経営支援も検討すべきではないでしょうか。

町長 今後、国や道の支援策を見極め、支援の仕組みを検討していきます。

再質問 今後、一次産業への支援を検討されますか。

町長 一次産業を含めて、トータルでより効果的な支援を検討していきます。



物価高騰には幅広い支援を



木村耕一郎議員

多目的トイレに紙おむつが入る サニタリーボックスの配置を



録画映像を動画でチェック▶

問 新聞の読者投稿欄で「男性汚物入れ歓迎」の見出しが掲載されていました。一部を紹介すると

「生理用品を捨てるためのサニタリーボックスを男性トイレにも設置しようという動きが、さいたま市などで広がり、市議会で取り上げられ実現し、前立腺がんの治療や加齢に伴い尿漏れパットなどを使う人たちに喜ばれている。うれしいニュースだ」との内容です。

その動きは他の自治体にも広がっています。事業費としては少額ですが、これは大事な視点であり、高齢社会と医学の進歩により、尿漏れパットや紙おむつをしながら日常生活をされる町民が増えていくと思います。

そこで私は、町内の主だった施設の多目的トイレに紙おむつが入るサニタリーボックスがあるか調査してみました。しかしサニタリーボッ



庁舎内に設置している多目的トイレとサニタリーボックス

クスは設置されていますが、紙おむつが入る大きさのものではありませんでした。

不便を感じている人に社会参加の促進を図る意味でも、多目的トイレの共有スペースに紙おむつが入るサニタリーボックスを順次配置し改善を図

る考えはないか伺います。町長 多目的トイレのサニタリーボックスの配置について、施設の規模や利用状況を調査の上、紙おむつにも対応するサイズのサニタリーボックスを配置できるよう準備を進めていきます。

高齢者や乳児等の「紙おむつ」の無料回収を

問 斜里町では「紙おむつ」支援事業を行っており、町民に好評な事業です。

また、斜里町のごみ事業の中で「新生児」の届け時に30リットルの一般ごみ袋100枚、転入者では「0歳児」のいる方には同じ枚数を、また「1歳児」のいる方には30リットルの一般ごみ袋50枚の配布を行っており、これも喜ばれている事業の一つです。

しかし、この配布方法では生活実態に合致しているとは言い難く、贈呈の色彩も入っている事業との認識を持っています。そこで、他の市町村が行っているように「乳幼

児」のいる家庭、または前段述べた高齢者等の「紙おむつ」を使っている家庭が「紙おむつ」のごみを出す時、透明もしくは半透明のビニール袋に入れて、ごみステーションに出してもらい、町は無料で回収する考えはないか伺います。

町長 斜里町の紙おむつの量は、網走市を参考に推計しますと、一般ごみの量の8.2%、220トンの量で金額にすると200万円で、配布分を引くと、約150万円を町民に負担して頂いていると認識しています。

処理費用がかかる一般ごみ、生ごみ、粗大ごみについては有料、リサイクルルートが確立されている資源物は無料で収集しています。したがって、今後も有料で回収していきます。

ただし、全国的に成人紙おむつの排出量が急増しているため、環境省は2020年3月にリサイクルに関する自治体向け

のガイドラインを策定、紙おむつメーカーにおいても研究開発が急ピッチで進められており、紙おむつのリサイクルが確立した段階で無料で収集したいと考えています。再質問 網走市の例で推計されていますが、環境省の調査では、紙おむつ類は全国ベースで一般ごみの5%以内です。これは事業所から出る紙おむつやペット用のシートも含んだ数値ですから、8.2%は多いのではないですか。

無料化している市町村では、無料化の対象から事業所やペット用を除いているので、私の試算では、100万円を切る数値になっていますが、どうですか。

町長 この数値は参考までに出した数値です。





金盛 典夫 議員

問 知床観光船事故

一人命救助・再発防止・信頼回復



録画映像を動画でチェック▶



PLB(総務省・ドリューマリンジャパンより)

問 観光船事故の人命救助、再発防止、信頼回復について三点を質問

① 確実な人命救助に個人位置指示無線標識(PLB)着装の義務化を

知床の海域は潮流が速く複雑です。一分一秒を争う迅速な人命救助には遭難者の位置を的確に把握することが重要です。そのため、国交省の中間報告では盛り込まれなかった個人位置指示無線標識(PLB) パーソナル・ロケータ・ビーコンの膨張式救命胴衣への装着を義務化するように国に対し提言すべきです。

町長 PLBについてはすでに国土交通大臣に対して要請をしており、ス

ライダー付き救命いかだの開発もされますが、人命救助が確実となるよう再度申し入れをします。

② 再発防止に観光船等発着関連施設の整備と安全運航のための協調体制の確立を

知床の国立公園指定は海上からの景観が極めて優れていたことによるものです。

しかし、陸域では自然センター、五湖フィールドハウスを整備して奥知床の保護と適正利用やヒグマとの遭遇による事故防止などを目的とする利用調整地区制度の設定など、ゲート機能を果たす施設整備がなされてきたが、海上においては全くなされていません。

協調運行管理のための施設(「みなとオアシス」など)を整備し、高度な安全安心で、かつ質の高い知床観光をめざす必要があります。

町長 運行管理のための施設整備は漁港利用上の制約など様々な課題があり、すぐにはできないが観光振興計画に位置づけ



みなとオアシスの例(「みなとオアシス網走」国交省北海道開発局HPより)

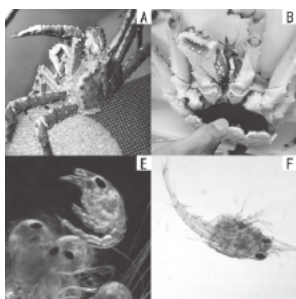
を明確にして信頼回復の可視化に努めます。

③ 信頼回復に知床ルールの制定を

知床連山での遭難や遊漁船と漁船との衝突事故等これまで多数の事故が発生しています。この度の事故によって失われた信頼を回復するため事故防止の指針を定め、安全

サケ・マス、及び浅海資源の回復に専門職員の配置を

問 斜里町発展の基礎を築いた水産業の不振は町税収入の大幅な減収をもたらし、町内経済に多大の影響を及ぼします。したがってサケ・マス、浅海漁業資源回復のため試験研究機関との連携を強めるには担当部署に経験を積んだ専門職員を配置して体制を充実する必要があります。



町長 「経験を積んだ人材の雇用」については対象や方法など広く考え、適材を探すよう検討します。

タラバガニ二種産生産研究が進んでいる(田村亮一「北水試だより98」より)

委員会活動報告

総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会
議会運営委員会・議会広報常任委員会

斜里町議会では、常設の四つの委員会のほか、特定の事件を審査するための特別委員会を設置し、各々の役割を持って活動しています。それぞれの委員会では、どのようなことを行っているのか、その様子や内容をお伝えします。



総務文教常任委員会

- 9月7日（第3回）9月定例会議案件協議
 - * 総務部所管案件
 - 海難事故の捜索活動の質疑等
 - * 教育委員会所管案件
 - * 道内所管事務調査の報告書説明
 - * 町内所管事務調査地と日程
- 日 時 10月18日
調査箇所
知床野営場
知床自然教育研修所
朱円小学校農業収蔵施設
斜里中学校



産業厚生常任委員会

- 7月27日～29日 道内所管事務調査
 - 8月4日（第4回）調査報告と今後の対応
 - 8月22日（第5回）子ども医療費無償化事業に係る協議（民生部と産業部）
 - 8月24日 委員長と議長の協議
 - 9月6日（第6回）9月定例会議議案協議
 - 9月13日 正副議長との政策提言に係る協議
 - 9月16日（第7回）町内所管事務調査地
日程調整中
- 調査箇所 オロンコ岩
知床小型観光船
道の駅うとろシリエトク
糠真布橋
秋の川発電所

議会運営委員会

- 7月11日 オンライン委員会の要綱
- 8月18日 オンライン委員会の要綱
新個人情報保護法
モニター説明会・懇談会
- 9月9日 9月定例会議の議事運営
- 9月15日 9月定例会議3日目議事運営
- 10月7日 9月定例会議最終日議事運営



議会広報常任委員会

- 9月14日（第3回）197号編集打ち合わせ
- 9月16日（第4回）197号編集会議
- 10月7日（第5回）197号ゲラ原稿校正
- 10月17日 校了
- 11月1日 発行

* 是非、議会広報への感想ご意見をお寄せください。

令和4年度 決算審査特別委員会 報告

令和3年度予算が、法を遵守され、住民の福祉増進に成果があったのか等の観点から審査を行いました。

審査は9月27日から10月3日までの5日間実施し、付託された認定第1号から認定第8号を、認定としました。



付帯意見

- 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響と主要産業である漁業等の不振による町内経済の悪化は回復の兆しが見えていない中、交付金を活用した各種事業の展開が図られていた。しかし、前年と同様に多額の不用額も生じているため、各担当課においては事業の成果を検証し本質的な目的が達成される施策の展開や必要に応じて事業の見直しを行うなど、さらに町民の福祉の向上に向けた事業実施を図りたい。
- 地域おこし協力隊事業の活用が増加しているが、担当毎での募集など採用に関する対応が統一されていないことから窓口の一本化が必要である。また、協力隊事業の活用目的が人件費の削減という視点にも見られるため、制度本来の主旨に沿って将来的な雇用維持や定住に結び付ける住環境の改善や充実を図る事業の展開が望まれる。

議会モニター説明会 9月9日



- 9月定例会議に伴い、モニターが傍聴・配信視聴した時の参考になるよう、説明会を開催しました。
- 9月定例会議の主な内容
 - ①一般議案 ②条例案
 - ③補正予算の主な内容 ④人事案 等々議会・町全般の説明・意見交換をしました。
- モニターからは
 - ・秋鮭に関する問題は今年もあるのですか？
 - ・新型コロナで町内の各イベントが中止になっていますが、町で開催基準を作成しては？
 - ・「温泉・体育館が欲しい」という町民の声は、耳に入っていますか？等々の質問や意見をいただきました。

- 9月定例会議の結果等について、議会モニター懇談会を開催しました。主な内容は一般質問と議決結果等について懇談しましたが、一般質問については、各質問者が「質問の主旨や行政がどのように答えたか」等について説明しました。

- モニターからは
 - ・鮭釣りに係わるごみのポイ捨て状況はどのようになっているか
 - ・まんぷく食うポンドigitalの利用について、不公平感を感じる
 - ・紙おむつごみの排出量やリサイクルはどうか
 - ・釣糸のポイ捨てが野鳥に影響を及ぼすと聞いたが、どうなのか等々の質問や意見をいただきました。

議会モニター懇談会 10月14日



第4・5回 議員協議会

- 調査・研修等見直しの検討について
近隣議会の状況なども考慮した上で調査・研修についての見直しを行い、改選後より適応します。主な変更点は次のとおりです。
 - 調 査 ・ 常任委員会が行う調査については調査先の制限を撤廃
 - ・ 特別委員会が設置された場合、必要に応じて調査に係る予算を計上
 - 研 修 ・ 各議員が行う道外議員研修については廃止
- 銀行窓口の廃止に伴う扱いの変更について
9月末で役場庁舎の銀行窓口が廃止となることから、議会内部でのお金の取扱いなどを協議しました。
- 報告書等様式の改定について
調査や研修の実施後に作成する報告書の見直しを行いました。
- オンラインを活用した委員会の開催要綱について
災害や感染症の感染拡大時などを想定した、オンラインを活用した委員会の開催にあたって必要な事項について整理し、要綱を定めました。

お知らせ 事務局職員の異動

10月1日付人事異動で議事係長が変わりました。竹川係長には、円滑な議会運営や委員会活動をサポートしていただきました。約7年3カ月の間、ありがとうございました！



***夕張市『夕張高校魅力化プロジェクトの取り組み』**

高校魅力化の取り組みは市職員が高校存続に危機感を持ち、市長に提言。在学中の資格取得の半額助成・海外短期留学の実施。学力向上では、公設塾「夕張学者キセキノ」を民間事業者に委託運営し、希望進路(国立大医学部など)の実現につながりました。



夕張高校の遠隔授業

***札幌市『DXの取り組み』**

札幌市ICT活用戦略を補強する位置づけで、市保有のオープンデータと民間データ双方を活用し、効率よくICT化や市民目線によるデジタル改革を進め、システムではなくサービスを作る設計を基本としています。全庁横断的『局』を設置して目的を達成しようとしています。



札幌市のICT活用戦略

***古平町『ゼロカーボンシティと複合施設』**

北海道内で最も古い役場庁舎の古平町。新庁舎建設を中心とした基本構想を作成。ゼロカーボンや省エネを取り入れ、道内初のZEB認証公共施設となるBEMSの導入を決定。エネルギーコストの削減、各種交付金活用で計画。総事業費34億円。ガラス貼付ソーラーや地中熱ヒートポンプで年間970万円の電気代を節減しています。



ガラスがソーラーになっている古平庁舎

***仁木町『IターンUターンの移住政策』**

果物栽培が盛んに行われていましたが、農業従事者の高齢化により、空農地が増加。しかし近年ワインブームにより、町外移住者によるワイナリー建設が進んだことから、積極的に産業観光振興と結びつける「移住支援政策」を進めています。「人口ビジョン総合戦略事業」により、KPIの指標も明確に示しています。



企業誘致に成功した仁木ヒルズ



標茶町



弟子屈町



別海町



標津町

●調査の目的 標茶町・弟子屈町・別海町・厚岸町・標津町

「子供の医療費助成・看護師不足と子育てから見た院内保育と観光の多様性の取り組み」

***子供の医療費助成・・・標茶町と弟子屈町**

子育ての課題を、今期の活動の中に組み入れてきました。子供の医療費助成に対する斜里町の消極的対応は、委員長はじめとして委員間でも必要な事項として、一般質問でも多く取り上げてきました。

特に昨今のコロナ感染による産業の落ち込み、また物価高騰、そして斜里町の医療環境など、子育て世帯に対する助成の必要性は急務と考え、近隣町村の先進的で積極的な取り組みを調査しました。

***看護師不足と子育てから見た院内保育・・・別海町**

未だ、待機児童が存在する斜里町にあって、別海町は働く世代の人手不足解消に、保育の環境充実がありました。

同規模の病院運営を行いながらも、継続的に看護師の確保につながる院内保育の役割と、全体の子育て支援の連携が特に安定している別海町の取り組みを調査しました。

***観光の多様性・・・厚岸町と標津町**

今年度の大きなテーマは、知床遊覧船事故を受けての今後の町の観光です。これまでの体験型観光に特化した方向性などに多様なアイテムを付加していくことが必要ではないかという視点から、食に特化した取り組みで、地域産業との連携が成功している厚岸の取り組みと、地域産業の漁業と連携を図り、観光客誘致にも力を入れはじめた標津町の取り組みを調査しました。

まちの声



ひ もり
楡 森 トシ さん
ウトロ在住

ウォーキングではゴミを拾って歩き、花壇の手入れもみんなで参加。
明るく元気な80代！

町民がうるさい町はいい町ですよ

● 議会広報・どうでしょうか？

前よりもずっと読みやすくなったと思います。

誰がどんな質問をしているのか、よくわかるようになりました。

● 広報の内容で気になることは？

人手不足なんですね。介護も保育所も。あんなにたくさん子供たちがいて、賑やかな町だったのに寂しくなりました。町みんなで子どもを大切にしたいですね。若い人がこの町に住んでくれます。大事にしたいと思います。

孫の暮らす町は高校生まで病院の費用がかかりません。斜里町も、てっき

りそうだと思っていました。こちら辺は病院にかかる費用の他に、遠い分余計にお金がかかりますから、親御さんは大変ですね。

● 町や議会に言いたいことは？

言いたいことはたくさんあるけれど、耳を傾けてほしいですね。聞いてください。言っても無駄と思われたら良くならないですよ。町も議員さんもっと話を聞く場所を作った方がいいのになあと思います。

町民はうるさいくらいが良い町だと思います。

追跡

ポイ捨てごみ問題



あの質問・その後は？

●平成21年に『ポイ捨て禁止条例』が制定されて13年。海岸への漂着ごみや不法投棄、ポイ捨てごみは未だに大きな課題の一つです。今期の「ポイ捨てごみ」に関する一般質問のその後は？

令和元年6月
令和2年3月
令和3年12月

- ・知床で考えては？「ゴミ持ち帰り」
 - ・町を愛する取り組み「漂着物清掃」
 - ・ごみのポイ捨て禁止条例・実効性ある条例改正を！
 - ・町民を巻き込んだ新たなゴミゼロキャンペーンを！
 - ・今こそ「ポイ捨て防止キャンペーン」を実施すべきではないか？
 - ・観光客のごみ対応、考えましょう
 - ・釣り客のごみ、内臓の不法投棄！
- (仮称) フィッシングパスポート制度検討しては

⇒令和4年度よりこんな事業が始まりました

- ゴミ拾い活動の見える化（社会貢献アプリ「ピリカ」の紹介）
- 斜里町ゴミゼロ運動支援事業
- ゴミ袋無料配布事業

令和4年4月号の『広報しゃり』では「ゴミ活」特集が生まれ、町民有志の活動が紹介されました。自主的にごみ拾いをされる方も増え、町中がきれいになってきたことを実感します。でも、取り組むべきことはまだまだ！



- ・Facebookで議会の情報を発信中！
- ・ホームページでは、議会インターネット中継、録画配信・会議録、広報も見ることができます。



Facebook



ホームページ

<http://gikai-sharitown.net/index.html>

斜里町議会

で検索



発行：斜里町議会 〒099-4192 斜里町本町12番地 ☎(0152) 26-8392 [直通] 編集：議会広報常任委員会